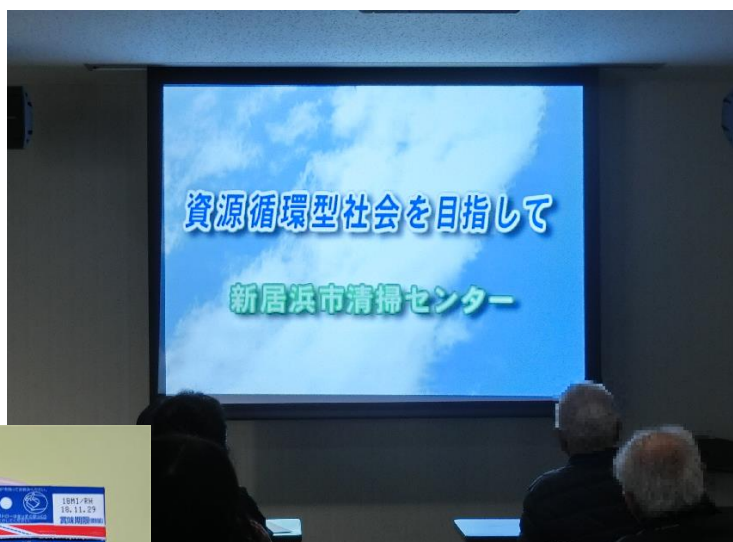


平成30年度 第1回・第2回 市政モニタ一会議報告書

第2回会議（11/22）時の給食



新居浜市 企画部 秘書広報課

平成30年11月

(事業の目的)

新居浜市では、市政に関する市民の皆さんの意見をお聴きし、市政運営の参考とするために、市政モニター制度を設けています。

今回の市政モニター会議は、参加希望いただきました市政モニターの皆さんに、市の施設見学や職員からの説明を通して市政への関心を高めていただくことを目的に実施しました。

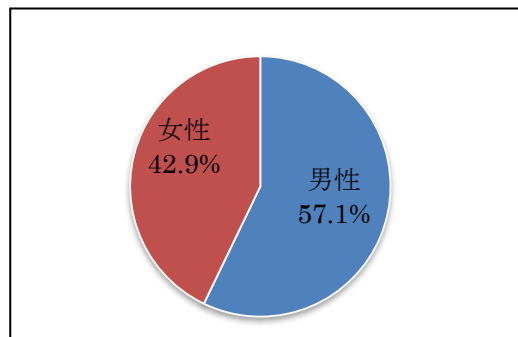
(日 程)

第1回会議	平成30年11月19日(月)	12:00 ~ 15:30
第2回会議	平成30年11月22日(木)	9:00 ~ 12:30

(参加者の状況)

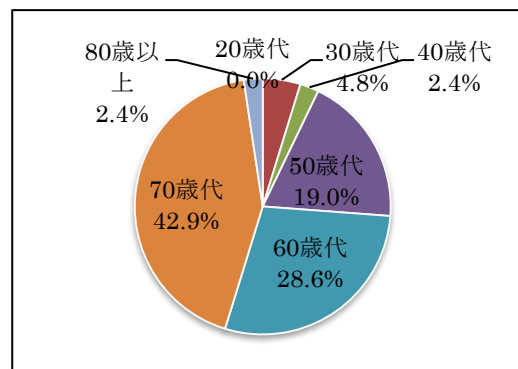
<性別>

	人数	割合
男性	24人	57.1%
女性	18人	42.9%
合計	42人	100.0%



<年代別>

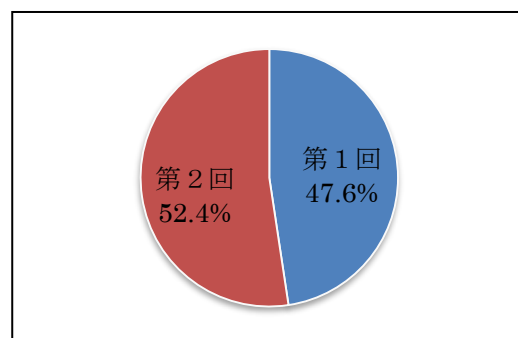
	人数	割合
20歳代	0人	0.0%
30歳代	2人	4.8%
40歳代	1人	2.4%
50歳代	8人	19.0%
60歳代	12人	28.6%
70歳代	18人	42.9%
80歳以上	1人	2.4%
合計	42人	100.0%



※年齢は平成30年4月1日時点

<参加日別>

	人数	割合
第1回	20人	47.6%
第2回	22人	52.4%
合計	42人	100.0%



※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

(見学先及び内容)

①新居浜市学校給食センター

給食センター所長（学校給食課長）の説明を受けながら、施設外観を見学。

その後、2階研修室にて学校給食の役割と目標、栄養基準、献立作成にあたっての基本方針等についての説明を受けた後、実際に給食が調理・配食されるまで、及びその後の作業を映したDVDを視聴しました。

また、実際に給食センターで調理された給食の試食を行いました。



【学校給食センターの概要】

- ❖平成13年3月建設
- ❖市内中学校8校（東中・大生院中以外）と新居浜特別支援学校（本校・分校）の給食業務を実施（約3,200食/日）。
- ❖安全で衛生的な給食づくりのため、ドライ方式の導入、職員及び食材の一方向動線の確立などの作業環境を整備。

【学校給食について】

- ❖役割…児童生徒の栄養補給や体位向上を目的に開始されたが、現在では学校教育の一環として、食に関する指導を効果的に進めるための『生きた教材』の役割を担っている。
- ❖目標…適切な栄養の摂取、望ましい食習慣を養う、社交性及び協同の精神を養う、環境保全に寄与する態度を養う、等幅広い内容で7つの目標が定められている（学校給食法）。
- ❖栄養…文部科学省で定める「学校給食摂取基準」により、一日に必要な栄養量の約3分の1を摂取。日常の食事ですり取りにくいカルシウムやビタミンB群は割合が高くなっている。
- ❖献立…パン週2回、ご飯週3回（11月から新居浜産米「ひのひかり」を使用）。牛乳は毎日1本、おかずはバラエティに富み、家庭ですり取りにくい食品や栄養を多くとれるよう工夫している。献立作成にあたっては、栄養のほかにも、衛生管理、郷土食や地元食材など地域に根差した献立、和洋中のバランスなどにも配慮している。
- ❖単価…中学校280円/1食
- ❖小学校における給食施設（主に自校方式）については、改築後30年以上経過して老朽化が進んでおり、新しい施設を整備する必要があることから、平成29年度に「新居浜市学校給食施設整備基本計画」を策定。事業着手後6年目までに新たに2箇所の給食センターを整備し、3センター体制に移行することを目標とする。

②新居浜市清掃センター

(1) ごみ減量課より説明 「混ぜればごみ 分ければ資源」

ごみ減量課職員より、新居浜市のごみの分別と減量について、主に「古紙類」と「プラスチック製容器包装」の正しい分別方法を中心として、説明を受けました。また、使用済み小型家電を回収し、東京オリンピック・パラリンピックのメダルにリサイクルする「みんなのメダルプロジェクト」、食品ロスの削減を目的とする「3010運動」等についての説明を受けました。



(2) 清掃センター見学

清掃センター所長（環境施設課長）より、施設についての概要説明を受けた後、DVD「資源循環型社会を目指して」を視聴しました。

その後、清掃センターの施設見学として、プラスチック選別施設、蒸気タービン発電機、粗大ごみ処理施設、ごみ焼却施設などの主要な設備を見学しました。



【清掃センターの概要】

- ❖平成 15 年 3 月 供用開始 建設費約 120 億円
- ❖ごみ焼却施設…処理能力 201 t / 日
※出力 1,950kw の発電設備（蒸気タービン・発電機）を備え、場内冷暖房及び給湯、売電
- ❖粗大ごみ処理施設…処理能力 40 t / 日
- ❖リサイクル棟…平成 21 年 10 月 供用開始 建設費約 3 億 4 千万円
処理能力：プラスチックごみ 約 6 t / 日、不燃ごみ 約 4 t / 日、資源ごみ 約 2 t / 日
- ❖一日平均のごみ受入れ量…約 120 t（約 400 台分）

(参加者アンケート)

市政モニター会議に参加いただいたモニターの皆さんに、感想やご意見をうかがい、今後の参考とするためにアンケートを実施しました。

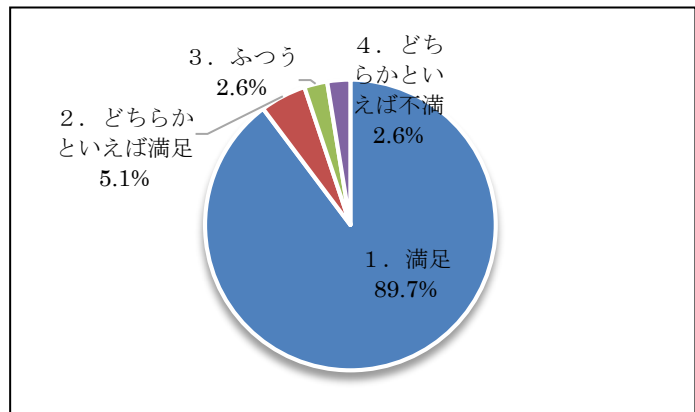
<アンケート概要>

調査対象者	第1回・第2回市政モニター会議参加者 42人
調査期間	会議実施日～平成30年11月30日(金)
調査方法	会議実施時にアンケート用紙を配布し、後日郵送で提出
回収数(率)	39人(92.9%)

<調査結果>

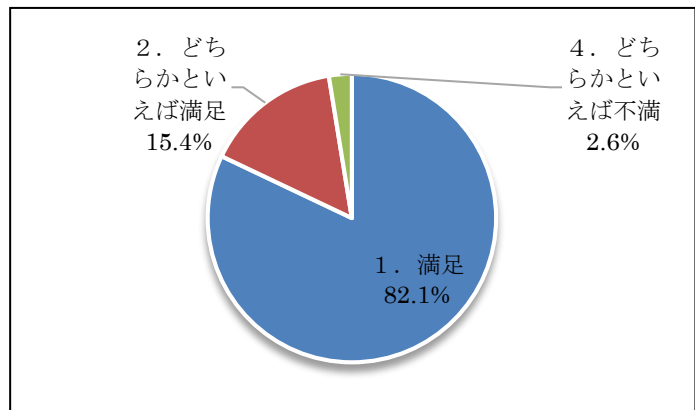
Q1. 今回の施設見学のリサーチや見学先の設定についてどう思いましたか。5段階の満足度でお答えください。(1つ選択)

1. 満足	35人
2. どちらかといえば満足	2人
3. ふつう	1人
4. どちらかといえば不満	1人
5. 不満	0人
合計	39人



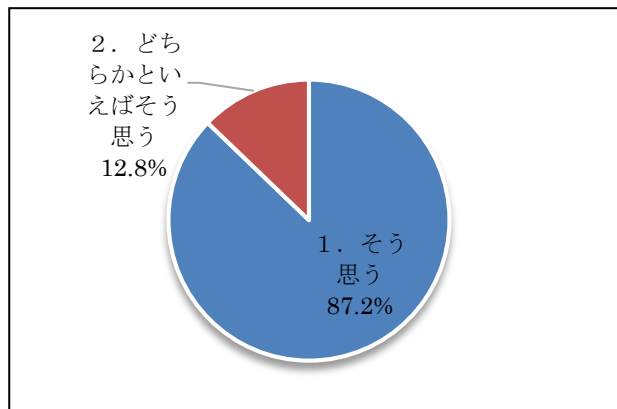
Q2. 今回の施設見学の内容や職員からの説明はいかがでしたか。5段階の満足度でお答えください。(1つ選択)

1. 満足	32人
2. どちらかといえば満足	6人
3. ふつう	0人
4. どちらかといえば不満	1人
5. 不満	0人
合計	39人



Q 3. 今回の施設見学に参加して、市の取り組みに対する理解や関心が高くなったと思いますか。(1つ選択)

1. そう思う	34人
2. どちらかといえばそう思う	5人
3. どちらかといえばそう思わない	0人
4. そう思わない	0人
合計	39人



Q 4. 今回の施設見学会に参加しての感想やご意見を自由に記入してください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

【学校給食センター及び給食について】

- ・我々が小学生の頃と比べて献立がどう変化しているかに関心があったが、それ以外にも給食センターで作っているのは中学生の給食で、小学校は各校で作っているとか、数年先には小学校もセンター化する等、学校給食全般について理解を深めることができた。
- ・食材入荷から調理配膳まで、3,000食余りを一連の流れの中で調理し、調理に携わる人は2週間に一度の保菌検査、機械の破損が見つければ調理中の食材廃棄と細心の注意を払っている等、食事で生命を守る大切さを学ばせてもらいました。
- ・衛生管理に留意していることがよくわかった。自動化の工夫がもう少しできるのではないかと思った。
- ・安全な食事を提供するための設備は充分だと感じた。汁物などの保温もできればベストだと思う。
- ・衛生的で効率的な設計、設備がなされていることがよくわかりました。1日3,000食余りを短時間、少人数で作れるのは、効率的な方法と設備があるからですね。今回見学させていただいたような設備の整った給食センターで、市内の小学校の給食も作ることができればいいなと思います。
- ・給食センターの取り組みがよく理解できた。小学校の自校方式には、温かいものを温かく食べられる良い点があるが、センター化した後も子どもたちのことを考えてくれていること、昔に比べご飯の回数も増えたことなどが、良い方向だと思った。
- ・昔は自校方式を望む声がほとんどだったけれど、今はもうセンター方式でも仕方ないと思います。アレルギー食への対応も完璧のようで、頭が下がります。これからもおいしい給食を作ってください。
- ・調理員さん等の皆さんの愛情を持った姿が目につきました。家庭での一家団らの食事風景が少なくなった現在、せめて学校給食での温かい雰囲気を続けていってほしいです。
- ・1食280円でこれだけきちんとしたものが食べられるということ、とても感心しました。
- ・給食センター見学は、時間との戦いの中で、安全・安心な食事を提供してくれていることがよく理解できました。給食の試食も美味しくいただけで大変良かったです。
- ・中国産の食品を使わない、など色々と細かく吟味されていることを知り、驚きました。味も薄味でおいしかったです。
- ・中学生の昼食があれで足りるのかと思った。
- ・きちんと栄養管理されているのだろうが、試食は副食が少なく感じた。

- ・普段子ども達が口にするものだから、職員の方が細心の注意を払って調理し、さらに各学校へ配達される前に毒味（試食）もする念の入れように、大変感動し安心もしました。
- ・試食は大変良かったと思います。耐震設備は少し心配になりました。
- ・給食センターの仕事が大変なことであることに、感謝ができた。

【ごみの分別・減量化への取り組みについて】

- ・新居浜市はごみの分別がきちんとしているので、可燃ごみの量は少ないと思っていたので他と比べ多いと聞いて驚きました。それだけ市民がごみの減量化に取り組む意識に欠けているのでしょうか。啓発が大事だと思いました。
- ・一人ひとりが協力しごみを減らすことと、ごみ分別を正しくする必要を感じました。
- ・雑がみとプラスチックごみについて再認識しました。さっそくごみ箱の横に紙袋を用意し、これからは雑がみの分別にも気をつけていこうと思います。今回勉強したことを、周りの人にも機会があれば声かけしようと思います。市の方でも、もう少し啓蒙の方法を工夫すると3Rでごみを減らすことに繋がっていくと思います。
- ・分別の仕方などが詳しく理解でき、良かったです。ただ、分別されていないごみが、周りのきちんと分別されたごみも汚してしまっていてリサイクルできなくなるのが残念。自治会に入っていない人などに、施設見学会ができたらいいですね。
- ・「混ぜればごみ、分ければ資源」もっと市民に大々的に取り組んでもらえるよう広報活動が必要なのではないかと思いました。個人的には、さっそく家庭内で話し合い、プラスチックごみを洗ったり、お菓子の箱を分別して、いつもより注意していこうとなりました。
- ・ごみの問題は今後ますます重大になるので、しっかり取り組むべき重要課題だと思います。子どもの頃からの教育、大人には細やかに周知を図る必要があると思います。自治会長等の見学や必要性・重要性の周知による教育、協力が必要でしょう。
- ・ごみの減量と分別大辞典を市民にもっとPRしてほしい。
- ・ごみの分類、分別がどちらかという処理する側の考えになっていると思う。捨てる側からすると分別しにくいものがある。
- ・歯の「8020運動」は知っていますが、食品ロスの削減に「3010運動」があることを初めて知りました。
- ・コンビニで賞味期限が過ぎたら大量に捨てています。実態調査の上、改善方法を協議してください。なるべくごみを減らすよう市政だよりでPRに努めてほしい。

【清掃センターについて】

- ・ごみ焼却の設備を見て大変勉強になりました。ごみなのに綺麗に処理してすごいと思いました。リサイクルできるものは極力しないといけないと思いました。
- ・立派な施設とごみの量が多いことに驚きました。我が家では生ごみはコンポストを利用して畑の野菜作りに使っていますが、近所では新聞に生ごみを干してステーションに出している人、水切りが不十分な人など様々です。自治会の総会などで、もう少し厳しく指導すればよいのではないのでしょうか。
- ・設備の大きさに驚きました。施設の2階に、見学用の通路と窓があることに感動しました。ただ、資料のパンフレットに前市長の写真が載っているのは、現市長に変えるべきでしょう。
- ・ルールに従ったきちんとした分別がいかに大切であるのか、説明と施設見学でよく理解できた。小学4年生に限定せず、中学生や一般市民にも清掃センターの見学会を開くべきと思った。
- ・清掃センターが全てコンピューター制御になっていることに驚きました。ゴミを燃やす力で発電し、余った電力を売っていることも驚きです。
- ・清掃センター15年経過を知りました。分別を心掛けていきます。

- ・プラスチックごみの手作業による分別の大変さがわかった。ごみ焼却熱で発電し、売電しているのは知らなかった。認識不足だった。
- ・プラスチックごみを手作業で分別していて、大変な作業だなあ、と感じました。私たちもできることを（汚れたプラスチックはきれいに）気をつけないといけない、と思いました。
- ・新居浜市のごみ処理施設の有様や排水処理、それでできた熱量の細やかな使用方法、取り組みなど、今まで知らなかったことが多々ありました。1つだけ気になったのが雨漏りで、天井にしみが何か所かあった事です。大雨が来たら困るな、と思いました。
- ・築15年も経っているのか、と思った。天井が所々雨漏りしているのも心配。
- ・まず驚いたのはスリッパを履いて、センターの工程を見ることができたことです。5S（整理、整頓、清潔、清掃、躰）が率先垂範されていると思いました。多少、歩きにくかったですが…。
- ・清掃センターの内容、取り組みは全国レベルでは？それだけに、案内ルートでの説明等が日本語以外は英語だけなのが気がかりでした。今やインバウンドへの対応、PRともに、中国語・韓国語は必要ではないでしょうか。
- ・プラスチックごみも再利用していたとは知らなかった。リサイクル事業者に引き取られる新居浜市のプラスチックごみが、ずっと「Aランク」というのはすごいと思った。
- ・ごみの分別とリサイクルの関係性がはっきりしました。リサイクルが充実するように、協力できることを実践していきたいと感じました。ただ、リサイクルをすることで、市民に何か利として戻ってくるようなことがあれば更に意識が高まると思います。（余熱利用による）温泉施設の実現は無理と伺い、がっかりしました。残念です。

【その他、会議全般の感想や運営・進行などについて】

- ・両施設とも安全と清潔さが目立って素晴らしいと思います。
- ・市内にある各種の施設等は知っているが、詳しい内容までは理解していないことが多かった。今回の見学で、生活の中で自分自身、考え直さないといけないことがたくさんあった。
- ・普段見られない施設の中や、どのように仕事をされているかを見られて良かった。説明後の質問では、市政モニターの方が真剣に参加していることがわかるような濃い内容のものもあり、その答えをもう少し説明してもらいたかった、と思うものもあった。
- ・給食センター、清掃センターの機能、役割等に関する理解は高くなりました。ただ、説明者の姿勢等に気になるところがありました。また、理解をさらに高めるためには、質疑応答に時間をもう少し長くとの必要があると感じました。
- ・普段入れないところを見に行けて良かった。どこかでコーヒーが出てくれば良かったかも。
- ・耳が不自由なので説明が聞こえにくかった。マイクの使用が必要。
- ・清掃センターのスリッパは階段の上り下りには危ないと思いました。見学会は勉強になったので、周りの人たちに伝えていきたいと思います。

Q5. 来年度以降の施設見学会で、設定したら良いと思うテーマや見学先があれば記入してください。（自由記入）

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- ・菊本町の最終処分場、上水道や下水道の施設
- ・水道配水場（水質検査センター）、下水処理場
- ・市役所、消防署

- ・市役所内を見学させていただきたいと思います。
- ・水道局、公図管理課など。何をしているか市の仕事を十分わかってないことが多いので、勉強する機会があるのはよい。
- ・完成後の防災拠点施設
- ・防災関連
- ・日暮別邸、あかがねミュージアム、産業遺産
- ・別子銅山関連遺産の見学や、その遺産を活用してどのように観光に取り組んでいくか等。
- ・広瀬歴史記念館
- ・東洋のマチュピチュ
- ・新しくなったあかがねミュージアムの裏側部分など見てみたい（絵を運搬している所）。マイントピアの電車に乗ってみたい。
- ・図書館
- ・斎場
- ・マリンパーク
- ・新居浜のものづくりの技術力再発見（市内の工場見学）
- ・市内の主要な産業、住友の会社見学
- ・小中学校の授業見学。市役所内の部署見学。市議会見学。
- ・市議会議員の市政への取り組みを聞かせていただく、懇談など無理でしょうか。
- ・意外と知られていない市内観光名所（銚子の滝、魔戸の滝、大島など）
- ・愛媛県総合科学博物館
- ・銅夢にいはま、総合福祉センター
- ・美術館めぐり、学習するところ、趣味探し

～ご協力、ありがとうございました～



©NPO 法人新居浜まちゅり隊